

幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会
登別中学校区検討部会 第2回会議
(幌別中学校への通学方法に関する意見交換会)
議事録

日時 令和5年12月20日(水) 18時00分

会場 登別中学校 体育館

参加者 7名

出席者 (登別中学校区検討部会)

飯尾委員、五十嵐委員、大久保委員、坂井委員、岸委員、斉藤委員、畠山委員
(教育委員会)

森元部長、菅田参与、舘下次長、近間総務 G 総括主幹、南雲総務 G 建築主幹、
西川原学校教育 G 総括主幹、秋葉学校教育 G 学務主幹、蓬田総務 G 主査、
出口総務 G 主査

【議事録】

○部会長 時間となりましたので、これより「幌別中学校への通学方法に関する意見交換会」を開催いたします。私は、幌別中学校と登別中学校の統合に関する委員会で、登別中学校区検討部会の部会長をしております、登別中学校 PTA 会長の飯尾です。よろしくお願いいたします。皆さんもご存じのとおり、令和9年4月に、登別中学校と幌別中学校が統合することが決まりました。我々の委員会では、子どもたちの通学方法について協議しておりますが、委員だけでなく、小学校や未就学の子どもたちの保護者も含め、広く意見を聞きたいということで、意見交換会を企画させていただきました。でははじめに、統合が決まるまでの経緯について、事務局である教育委員会より説明してもらいます。事務局、よろしくお願いいたします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 ありがとうございます。これまでの経緯について、事務局から説明がありました。子どもたちの数が少なくなっているという状況の中で、令和3年8月に、教育委員会が、今後35年間の市内の学校の配置のあり方をグランドデザインという形でまとめたわけですが、この中で、登別中学校については、幌別中学校との統合が想定されたと。これを受けて、登別中学校区では、保護者や地域住民により委員会が立ち上げられて、ここで統合すべきなのかどうかを話し合ったわけですが、子どもの数が減ることによって、競争性の面で物足りないところがあるほか、学科によっては専門の先生が配置されない状況もあり、子どもたちの教育環境を考えると、統合した方がいいという結論になりました。ただ、統合にあたり、通学方法、登別中学校で取り組んできた特色ある教育の取扱い、学校保管資料の取扱い、生徒同士の交流事業、統合時の子どもたちへのケアについてはしっかりと対応して欲しいという条件を付けまして、いま学校統合委員会でも、通学方法などについて話し合いを始めたところです。以上、これまでの経緯について、皆さんから質問はありませんでしょうか。

(なしの声あり)

○部会長 それではさっそく本題に入ります。いま、登別中学校区検討部会では、現在の登別中学校区から幌別中学校への通学方法について協議しておりますが、委員以外の保護者の皆さんの声を聞きたいということで、本日の意見交換会を企画しました。それでは、皆さんから意見を聞くにあたり、事務局から、通学方法に関す

る考え方を説明してもらいたいと思います。事務局、よろしくお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 ありがとうございます。事務局からは、通学距離や通学時間の目安について説明があり、幌別中学校との統合によって、現在の登別中学校区は、全域が徒歩通学困難な地域になるので、何らかの交通手段を使って通学することになるという説明がありました。通学方法としては、①遠距離通学費補助②スクールバス・スクールタクシー③地域により併用する方法の3つがあるということで、それぞれのメリット、デメリットについて説明があったと思います。我々としても、スクールバスであれば、安全性が高いし、乗り遅れる心配も少ないとか、公共交通機関の利用であれば、不審者と同乗する心配や乗り遅れる可能性があるといったことも話し合いましたが、やはり保護者の皆さんから広く意見を聞きたいということで、本日の意見交換会を企画しましたので、皆さんから、何か質問や意見があればお願いします。

○参加者 まだ先の話なんで、具体的にイメージできないところはあるんですが、3つの方法のうち1つに決めてしまうということなんですか。令和9年4月から、例えば遠距離通学費補助であれば、この方法1つに決めるということですか。

○部会長 事務局お願いします。

○事務局 公共交通機関を利用か、スクールバスの運行か、いずれかの方法を決めることになります。

○参加者 同じ登別地区でも、住んでいる場所や家庭の事情によって、スクールバスか公共交通機関かは考え方が異なると思いますので、1つの方法に決めてしまうのではなくて、各家庭で通学方法を選べるようにしてもらえればありがたいのかなと思います。

○部会長 ありがとうございます。個人によって通学方法を選べるようにすればいいのではという意見ですね。他にありませんか？

○参加者 私の子どももまだ幼いので、イメージしづらいところはあるのですが、いまの印象としては、中学生という年齢を考えると、安全に短時間で学校に届けてもらえるということで、スクールバス・スクールタクシーがいいのかなと思いました。さきほどあったように、家庭によって様々な考え方はあるのかなとは思いますが、各家庭の意向を把握し、これに対応するのは正直難しいのではないかと思います。そこで1つ質問なのですが、道内の他の地域では、スクールバスの利用と公共交通機関の利用、どちらが多いのでしょうか。お願いします。

○部会長 ありがとうございます。事務局、道内の状況がわかれば教えてください。

○事務局 全道的にどちらの割合が多いかについては、細かい数字を統計としては持っておりませんが、印象としては、小学校・中学校の場合にはスクールバスを運行しているケースが多いのかなと思っています。例えば、お隣の室蘭市は、本市よりも先に計画的に学校の統合を進めていますけれども、スクールバスで対応しています。ただ、登別市の場合、温泉地域やカルルス地域から登別中学校に通学するケースを初め、公共交通機関を利用して通学するケースも複数ありますので、あ

る程度浸透している部分はあるのかなと思います。それから少し戻ってしまいましたが、1人目の方のご意見についてなのですが、通学方法を地区によって分けるのは可能ですが、各家庭に通学方法を選択してもらうことは考えておりません。仮に各家庭の選択制にした場合には、スクールバスを運行するための経費と公共交通機関を利用する家庭への補助金を二重に支出することになってしまいますので、これについては、財政的な事情から難しいものと考えています。他市の例を見ても、各家庭の選択制をとっている例はないというのが実情です。

○部会長 ありがとうございます。他にありませんか？

○参加者 子どもがスクールバスに乗り遅れた場合や放課後補習になり、スクールバスに乗れない場合の対応はどうなるのでしょうか。

○部会長 そこは学校側との協議になると思いますが、乗り遅れた場合の対応などについて、事務局、よろしくお願いします。

○事務局 スクールバスを運行する際の細かい部分は、学校とも調整しながらやっていくことになると思いますが、登別小学校の場合、登校時のスクールバスに乗り遅れた際には、バス券を配って路線バスで帰宅するという対応をしております。また、下校時については、学校側で乗り遅れないよう調整することになります。

○部会長 他にありませんか？

○参加者 各家庭で選択できるのが1番いいかなとは思いますが、先ほど説明していただいたように、予算の面でそれが難しいのであれば、すべてスクールバスにしても

らうのがいいのかなと思います。さきほど部会長からもあったように、路線バスになると、帰宅時間の把握が難しくなってしまいますので、いずれかの方法にするということであれば、スクールバス・スクールタクシーにしていればと思います。

○部会長 ありがとうございます。他にありませんか？

○参加者 公共交通機関を利用する場合、中学校からバス停まで15分程度かかるということで、時間帯によってはかなり急がないと間に合わないような気がしますし、少し寄り道をしたら乗り遅れてしまうことがありますので、スクールバス・スクールタクシーを出してもらうのが安心かなと思います。

○部会長 ありがとうございます。他にありませんか？

○参加者 路線バスだと時間的にも余裕が無いので、スクールバスの方がいいかなと思います。

○部会長 ありがとうございます。他にありませんか？

○参加者 公共交通機関の場合、登校時は遅刻しないよう気を配れると思うのですが、下校時は少し学校を出るのが遅くなって乗り遅れてしまうと、次の便まで1時間以上待つケースも発生してしまいますので、やはりスクールバスの方がいいかなと思います。そこで一点確認があります。土日の部活動については、公共交通機関を利用するためのパスを用意するということですが、それは路線バス、JR両方使えることになるのか。その点はどうなるのでしょうか？

○部会長 事務局、お願いします。

○事務局 詳細は決定後に検討することになりますが、現在の想定としては、路線バス用のパスを配ることを考えています。室蘭市の場合、バス会社にスクールバスの運行を委託し、土日の部活動用として、同社の路線バスで使用するパスを配布しているとのことですので、同じような形になろうかと思えます。

○部会長 ありがとうございます。路線バスで通学させることに不安を感じる意見が多いようでしたが、三年後に高校生になった時には、いずれにしても公共交通機関を利用して通学することになりますので、その三年間をどう考えるかだと思います。それを社会経験と考えるのか、不安要素として捉えるのか。私としては社会経験と考えてもいいのかなとは思いますが、保護者によって様々な考え方があろうかと思えます。本日は、検討部会の委員も参加してくれていますので、委員から参加者の皆さんに、何か聞きたいことなどがあれば。

○委員 検討部会のメンバーは、小学校、中学校の現在の在校生の保護者が中心になっていますので、実際に統合後の中学校に通うことになる子どもをお持ちの皆さんに話を聞いて、それを協議に生かせればと思っています。話を聞いていると、乗り遅れた場合や不審者に遭遇した場合の不安、携帯電話は持っていないので連絡手段をどうするのかなど、保護者だからこそその声を聞けたなと思っています。私も下の子どもが統合後の中学校に通うことになるので、同じような不安を持っていました。

○委員 参加者の皆さんからは、乗り遅れや不審者との遭遇を心配する声が多く聞かれ

ましたが、やはり保護者でなければわからない部分というのはあるかと思しますので、そのあたりの細かいことを是非聞かせていただければと思います。

○参加者 個々の子どもの特性で保護者にも色々な心配があると思いますが、私の子どもは遅刻が多いのですが、そういう子を持つ保護者の場合、スクールバスにしても、公共交通機関を利用するにしても、乗り遅れてしまうのではないかという心配は増えるだろうなと思いますので、携帯電話の持ち歩きを認めるのがいいのではないかと思います。

○委員 携帯電話を認めてはどうかということですが、もう一つ委員会の話し合いで出ていたのが、災害等で下校時間が早まった場合などの連絡方法をどうするのかという点です。そのあたりについては、どうでしょうか。

○部会長 いかがでしょうか？

○委員 災害やインフルエンザ等の学級閉鎖で下校時間が早まった場合には、インターネットを利用した連絡網でお知らせがありますし、それを見ていなかった場合には、直接勤務先に連絡がありますので、それに関しては、統合後も同じ対応になるのかなと思います。ただ、迎えに行く距離が今までよりも長くなるということかなと。

○部会長 公共交通機関の場合には、早まった下校時間に合わせて必ずバスがあるわけではありませんので、保護者にしてみれば、何時に帰って来るかわからないということになるのかなと。

○委員 そうした場合には、迎えに来てくださいということになるのかなと思います。

○部会長 迎えに行けなかった場合には？

○委員 子どもたちは学校で待つことになると思います。それは今も同じかなと。

○部会長 現状、温泉地域やカルルス地域から登別中学校へは路線バスを利用して通学していると思うのですが、そのあたりの対応はどうなってるのでしょうか？

○毛利校長 例えばインフルエンザなどにより、日の途中で学級閉鎖になり、下校時間が早まる場合には、路線バスを利用している生徒の保護者に個別に連絡し、この時間のバスに乗せて帰す旨を伝えています。もちろん迎えに行くという家庭もありますので、各家庭の対応に合わせて、学校としても対処しているところです。

○部会長 ありがとうございます。イレギュラーなケースが生じた場合には、保護者が困らないよう、不安を感じないよう対応すると。これは統合後も同じだと。

○事務局 もちろんです。

○委員 ただ、路線バスに極端な遅れが生じた場合とか、または運休になってしまった場合には、保護者に連絡する手段が無いということになると思います。スクールバスの場合には、学校が管理してくれますので、運行自体に問題が生じた場合にも連絡面では安心できると思います。

○部会長 ありがとうございます。委員の皆さんから他にありませんか？

○委員 参加者の皆さんの話を聞いていると、やはり子どもたちの安全安心を考え、スクールバス・スクールタクシーでという意見が多いのかなと。これについては、私も共感する部分ではありますが、過去に委員会で話し合われた内容を紹介すると、先ほど部会長からもあったとおり、公共交通機関を利用することで、人として学べることも多いのではないかと。特に、登別市は観光地ですので、そうした意味でも学べることは多いのではないかと。高校生になった時にはいずれにしても公共交通機関を利用して通学することにはなるものの、中学生がそれに適しているか適していないかといえ、私自身は判断しかねる部分もあるのですが、必ずしも公共交通機関を使うのはマイナスばかりではないと。過去に委員会ではそうした意見もありましたので、参加者の皆さんにもご紹介させていただきました。

○部会長 ありがとうございます。委員の皆さんから他にありませんか？

○委員 私も、個々の保護者が通学方法を選べれば一番いいのかなとは思いますが、それは予算上難しいということですので、いずれかの方法を選ぶとすれば、公共交通機関を利用させる場合、バス停からの徒歩時間も含めると、通学にかなり時間がかかってしまいますし、観光客などで公共交通機関が混み合えば、その中で子どもたちも右往左往してしまう。そうしたことが子どもの成長に影響を与えることが無いようにしなければなりません。そうした意味で、住んでいる場所によって、大きな不公平感が生じないような環境づくりが必要だと思います

○部会長 ありがとうございます。委員の皆さんから他にありませんか？

○委員 私は、登別小学校の学校運営協議会ということで参加していますが、実際に子

どもたちに関わる年齢ではありません。決めるのは、やはり参加者の皆さんのような現役の保護者になると思います。そう考えると、参加者が少なすぎるように感じていますし、残念だなという気持ちです。通学方法についてですが、参加者の皆さんからもあったように、安全性を考えれば、やはりスクールバスがいいのではないかと思っています。いずれにしても、現役の保護者の皆さんの声を聞きながら決めていかなければならないと思っています。

○部会長 ありがとうございます。いずれの方法にもデメリット、メリットがあるわけですが、方向性が決まらない限り、イレギュラーなケースが生じた場合の対応を含め、詳細を詰めることができませんので、一定の時期には結論を出さなければならぬと思います。方向性を決めるにあたっては、委員も言ったように、保護者の皆さんの意見を聞きながら決めなければならぬと思いますので、皆さんには是非興味を持っていただいて、学校や幼稚園を通じてでもいいですので、私たちに聞かせていただきたいと思います。

○参加者 確認したいことがあります。昨年、文部科学省から部活動に関する通知があったと思います。学校毎の部活動を廃止して、地域のクラブ活動に移行するという内容だったかと思うのですが、市の方針としてはどうなっているのでしょうか？

○部会長 事務局、お願いします。

○事務局 部活動の地域移行に関して、交通手段の部分についてお話しします。現在、一部のスポーツで部活動の地域移行を行っておりますが、今年の夏には、市バスを使って、部活動の実施場所まで子どもたちを運ぶ実証実験を行いました。統合

後に、現在の登別中学校区の子どもたちが、地域移行した部活動に参加する場合には、部活動用のバスなどを利用して幌別中学校から地域部活動の実施場所まで行き、帰りも同じく部活動用のバスを利用して幌別中学校まで帰って来た後に、スクールバスまたは公共交通機関を利用して自宅に帰るとというのが基本になるかと思います。

○参加者 部活動用のバスが幌別中学校に帰って来てから、スクールバスに乗り換えて帰宅となった場合には、スクールバスの出発時間に部活動用バスが間に合うのかという心配もありますので、そのあたりも含めて検討しなければならないのかなと思います。

○参加者 先ほど委員の方から、参加者が少ないという話がありましたが、日程を参観日に合わせるとか、託児をやるなどして参加しやすい環境で実施してもらえれば、参加しやすくなるのではないのでしょうか。そのあたりの検討もお願いします。

○部会長 わかりました。そこは検討していきたいと思います。保護者の皆さんにもっと関心を持ってもらいたいというのは私も同じ気持ちですので、皆さんが参加しやすいよう工夫していきたいと思います。

○部会長 皆さんよろしいでしょうか。本日は足下の悪い中、参加いただきありがとうございました。本日いただいた意見については、検討部会として今後の協議に反映させていきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。本日はありがとうございました。